



Global IP Indiaの5周年記念行事

今回は、私が事務所代表として運営するインドの特許事務所 Global IP India (New Delhi)の設立5周年記念の行事を紹介します。

組織の設立日は、どんな組織にとっても特別な日です。そして、若い組織にとって、毎年の記念日は成熟に向けた一步を意味します。Global IP Indiaの設立記念日は10月30日で、今年は設立5周年の年でした。



私たちは5年目の祝典として、すべてのメンバーにとって特別で思い出深いものにするため、美しいリゾートへの1日旅行を計画しました。なお、組織の共同創設者であり、United GIPsグループの代表でもある宮川良夫氏が参加してくれたのは印象深かったです。また、嬉しいことに、Global IP Italyに駐在する日本人弁理士、宮垣丈晴氏もイタリアから参加してくれました。

お祝いの会場は、ダム・ダマ・レイクという湖の中の島にあるリゾートでした。リゾートの名前はドリームアイランドで、ここは、ピクニックやレクリエーションのための観光地として有名です。湖はデリー首都圏の郊外にある自然湖で、ニューデリーの南西に位置するデリー空港からさらに南に約50km離れています。

リゾートは島にあるので、私たちが湖のほ

とりに着くと、ボートが私たちが拾って島へ運んでくれました。手漕ぎのボートで、20分以上乗りました。



到着すると、広々とした芝生が広がり、馬や孔雀などの動物が出迎えてくれました。建物は、農家を模したものでした。



まず軽食をとり、続いて、チームメンバー間のコミュニケーションや友情を改善するために、さまざまな「チーム構築演習」を開始しました。最初のイベントは、ペイントボールと呼ばれる当日のメインイベントでした。



ペイントボールは、無害の小さな樹脂製ボールで、中にペンキが詰まっています。これをエアガンで撃ち合って、模擬戦闘を行うのです。

我々は、赤チームと青チームに分かれ、軍服を着用し、ペイントボールを搭載したエアガンを与えられました。ペイントボールは、一度プレイヤーに当たれば破裂し、ペンキが服に着くことで「撃たれた」ことがわかる仕組みです。

2チームは、赤旗を挟んで両側に別れました。木々が茂っているので、それに隠れるようにして我々は配置に着きました。ペイントボールで撃たれることなく赤旗を先にとったチームが勝ちになります。結果は、赤チームの勝ちとなりました。

次に、できるだけ相手に多く撃ち込むことで競争するゲームを行いました。このゲームでは、赤チームよりも撃たれた弾の少なかった青チームの勝利となりました。

それから後、「チーム構築演習」の一環として、ラペリング、ジッパー、ハードルなどを行いました。



一連の「演習」を終えた我々は、活動のストレスを癒すべく、豪華なインドスタイルのランチをいただきました。メニューには様々な地元の料理がありましたが、揚げたナーンとチキンのピースとベジタリアンカレーの組合せであるChanna Bhaturaが特に有名でした。



遅いランチの後は、ダラダラと過ごしました。一部のメンバーはプールで泳ぐことに決めました。また別の人々はハンモックで昼寝をしたりしました。これは我々にとってとてもリラックスした時間となりました。

最後に、GIP Indiaの5周年記念祝いのケーキを切り、みんなで食べました。



暗くなるまで我々はリゾートでの滞在を楽しみました。誰もが楽しい時間を過ごした、素晴らしい日帰り旅行となりました。…さあ、次の5年にはどんな未来がまっているでしょうか?!



筆者紹介

Kshitij Malhotra

Global IP India (New Delhi) 事務所代表